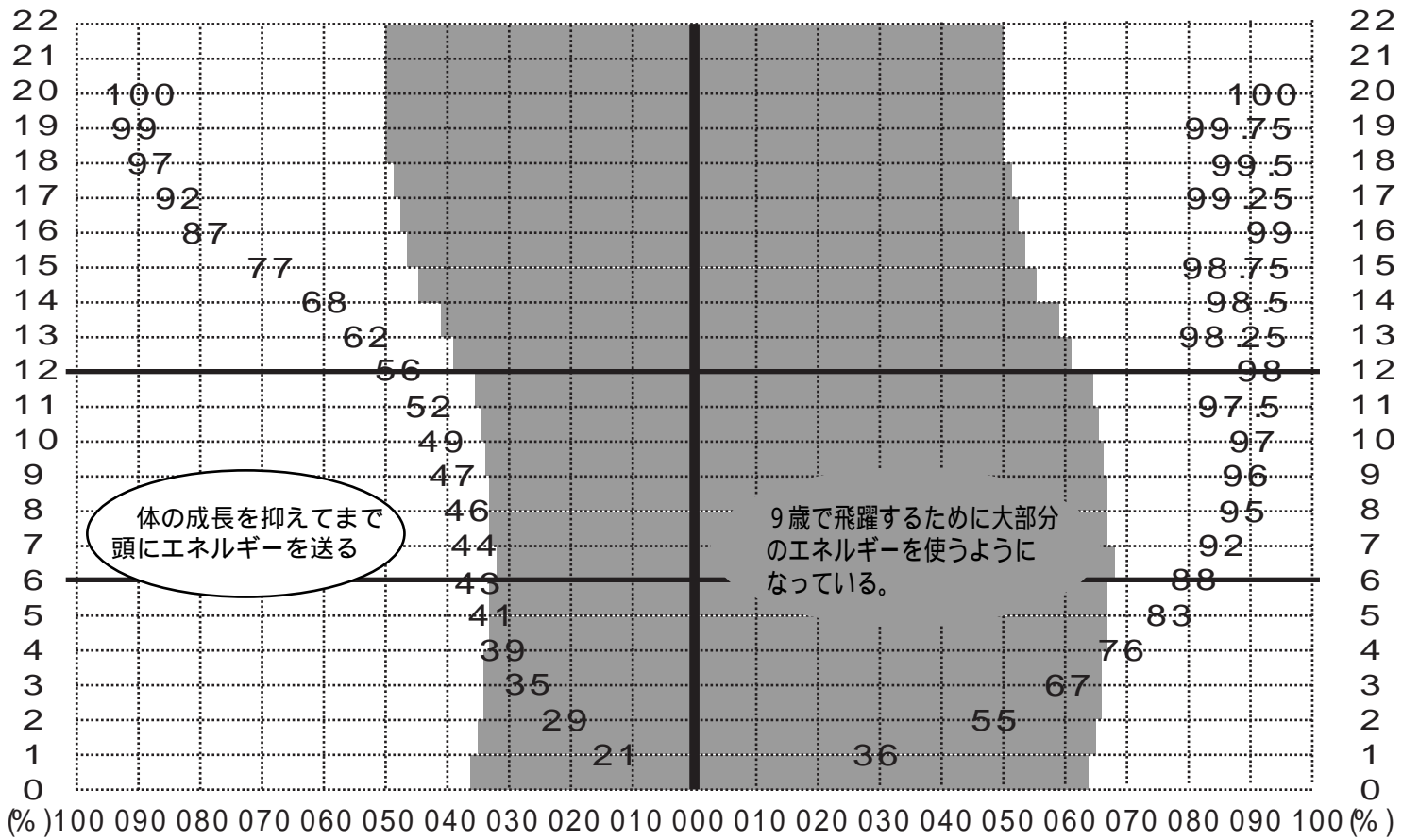


(年齢) 体の発達 <スキャモンのデータ解析結果> 頭の発達 (年齢)



は20歳を100%と見たときの成長度 (一般型・神経型)

は成長に使うエネルギーの消費量

増殖率は年間5%の増加を成長期の基準(100%)として示した変化の割合を%表示したもの
 エネルギー消費割合は各部位 ÷ (頭 + 体) の割合を%表示したもの
 成長度・増殖率・エネルギー消費割合を考えると頭は9歳児でエネルギーを最大に消費する

年齢・増殖率 一般型 <消費割合>	エネルギー 消費割合	増殖率 神経型...	頭の状態	学年
22.....095%	< 50..... 50>	095%.....	(安定期)	大4
21.....095%	< 50..... 50>	095%.....	(安定期)	大3
20.....096%	< 50..... 50>	095%.....	(安定期)	大2
19.....097%	< 50..... 50>	095%.....	(安定期)	大1
18.....100%	< 49..... 51>	095%.....	(安定期)	高3
17.....101%	< 48..... 52>	095%.....	(安定期)	高2
16.....108%	< 47..... 53>	095%.....	(安定期)	高1
15.....108%	< 44..... 56>	095%.....	(安定期)	中3
14.....104%	< 41..... 59>	095%.....	(安定期)	中2
13.....105%	< 39..... 61>	095%.....	(安定期)	中1
12.....103%	< 36..... 64>	096%.....	(熟成期)	小6
11.....101%	< 35..... 65>	096%.....	(熟成期)	小5
10.....099%	< 34..... 66>	096%.....	(熟成期)	小4
9.....097%	< 33..... 67>	096%.....	(熟成期)	小3
8.....100%	< 33..... 67>	098%.....	(熟成期)	小2
7.....097%	< 32..... 68>	100%.....	(熟成期)	小1
6.....100%	< 33..... 67>	101%.....	(急成長期)	
5.....100%	< 33..... 67>	104%.....	(急成長期)	
4.....106%	< 34..... 66>	108%.....	(急成長期)	
3.....115%	< 34..... 66>	116%.....	(急成長期)	
2.....132%	< 35..... 65>	146%.....	(急成長期)	
1.....420%	< 37..... 63>	720%.....	(急成長期)	
0.....000%		000%.....		

本格的な思考・抽象概念の操作の始まり
 できるだけパターン学習は避ける
 9..... 具象思考から抽象思考へ飛躍・9歳の壁
 8..... 十分な体験的学習が必要・代用物はない
 7..... 全エネルギーを頭に使う
 言葉を探るための理論付けをする
 思考の源を作る
 6..... 言葉の獲得
 5..... 言葉の獲得
 4..... 音から言葉への飛躍
 3..... 頭の基礎ネットワークを作る
 2..... 頭の基礎構造を完成させる
 余計な刺激は禁物
 0.....

体の鍛錬期の始まり・力強くする
 体の融合期・知識と技を融合させる
 理論と実践・イメージを具現化する
 イメージ通りの動きを出きるようにする
 体の技術的ピークをここに合わせる
 頭の成長が完了するので体の再加速が始まる
 頭の鍛錬期の始まり
 今後3年間が知的教育を最も消化できる時期